



# 7月 えんだより



ともしび保育園 7月1日発行

## 「どんな夏を過ごしましょうか」

いよいよ7月になりました、暑い夏のはじまりです。

突然ですが立葵(タチアオイ)という花をご存じでしょうか？この花は下の方から咲くのですが、てっぺんまで花が咲くと梅雨が明けるといわれている花です。それを聞いてからその花を毎年見ていると、ここ数年はその花が梅雨明け前からすでにてっぺんまで咲ききっているのです。これには昨今の異常気象を感じずにはられません。さて今年はいつ梅雨があけるのでしょうか。

子どもたちが楽しみにしているプール・水あそびもすでに何回か楽しんでいますが、外気温が高すぎると危険を伴うために実施できないことも多いのが現状です。

ともしび保育園には各クラスの保育室以外に多目的室・ホール・遊戯室と遊べる部屋が多くあります。遊戯室は乳児クラスが、ホールは幼児クラスが主に使用し、その中でも各クラスが時間を区切って身体を動かして遊べるようにしています。

ある日の遊戯室では2歳児うさぎ組が遊んでいました。フォーミングという様々な形のソフトブロックを床に並べてその上を子どもたちが歩いています。あえて間隔をあけて並べることで、ただ歩くだけでなく落ちないように歩くという面白さがあります。高く重ねたりお家をつくってそこでお店やさんのようなやりとりも始まっていました。木製の巧技台はよじ登ったりすべり台になったりと様々な遊び方ができます。

幼児クラスになると集団での遊びも少しずつ取り入れていきます。マットの周りをピアノの音に合わせて走る、止まる、スキップしてみる。動物になりきって歩くなども好きな遊びです。ボール運び競争や、サーキットのようにそれぞれの場所に鉄棒や平均台巧技台などを置いてぶら下がる、またぐ、くぐる、ジャンプするなどの動きも繰り返し楽しんでいます。

プール・水あそびはもちろん子どもたちにとって魅力的な活動ではありますが、なかなか戸外に出られない日も、園内の恵まれた様々な部屋で(ここで紹介したのはほんの一部で、もっとバリエーションはあります!)それぞれの保育者が創意工夫し子どもたちと楽しんでいます。これから始まる長い夏もきっと様々な遊びが展開されることでしょう。